

● 月例経済報告

<p>基調判断</p>	<p>景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>	
<p>個人消費</p>	<p>総じてみれば持ち直しの動きが続いている。</p>	<p>消費総合指数と実質総雇用者所得 (2011年=100)</p>
<p>設備投資</p>	<p>持ち直しの動きがみられる。</p>	<p>製造業・非製造業の設備投資（実質） (2000年=100)</p>
<p>住宅建設</p>	<p>弱含んでいる。</p>	<p>住宅着工戸数（季節調整値） (年率：万戸)</p>
<p>雇用</p>	<p>改善している。</p>	<p>雇用者数、就業者数の推移 (万人)</p>

生産	持ち直している。	<p>鉛工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2010年=100)</p>																								
輸出	持ち直している。	<p>地域別輸出入数量指数 (2010年=100) ①輸出</p> <table border="1"> <tr> <td>アメリカ</td> <td>2月</td> <td>+1.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲0.1%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>2月</td> <td>+7.8%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+2.8%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>2月</td> <td>+3.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+0.6%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>2月</td> <td>+5.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>+0.7%</td> </tr> </table>	アメリカ	2月	+1.5%		3MA	▲0.1%	アジア	2月	+7.8%		3MA	+2.8%	全体	2月	+3.3%		3MA	+0.6%	EU	2月	+5.5%		3MA	+0.7%
アメリカ	2月	+1.5%																								
	3MA	▲0.1%																								
アジア	2月	+7.8%																								
	3MA	+2.8%																								
全体	2月	+3.3%																								
	3MA	+0.6%																								
EU	2月	+5.5%																								
	3MA	+0.7%																								
国内企業物価	緩やかに上昇している。	<p>企業物価の推移 (2015年=100)</p>																								
消費者物価	横ばいとなっている。	<p>消費者物価の推移 (2015年=100)</p>																								
海外経済	緩やかに回復している。																									

[月例経済報告：内閣府](#)

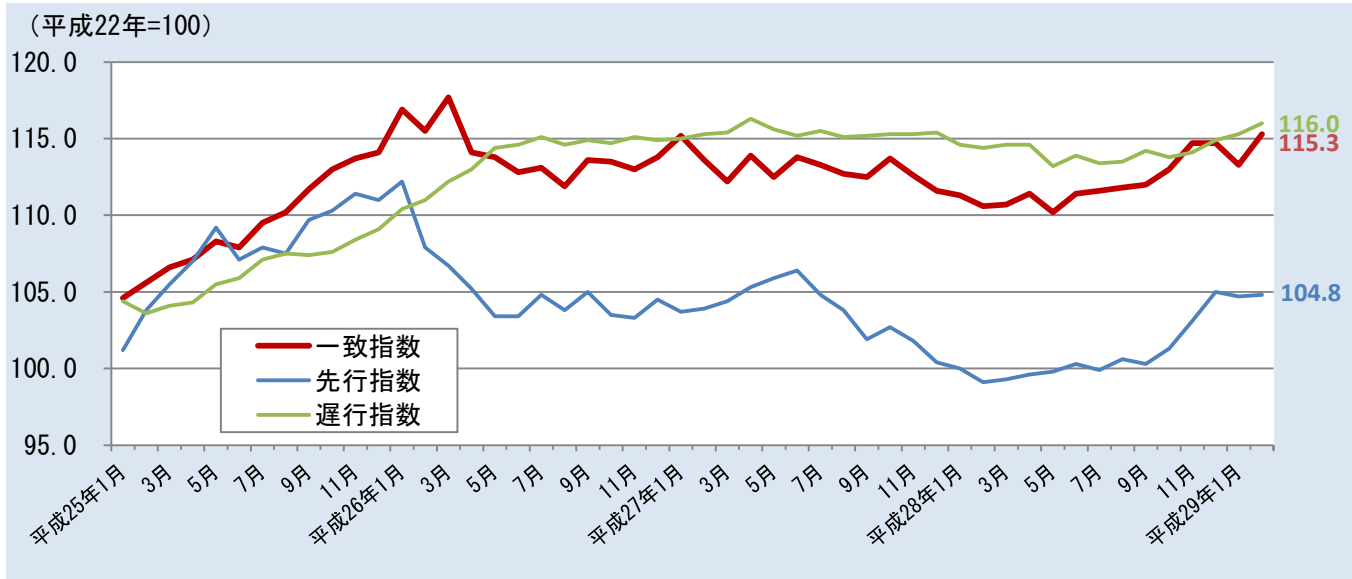
● 景気動向指数（平成29年2月）

平成29年2月のCI一致指数（改定値）は前月より2.0ポイント高い115.3ポイントとなった。
 CI先行指数は前月より0.1ポイント高い104.8ポイント、遅行指数は前月より0.7ポイント高い116.0ポイントとなった。
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「改善を示している」を据え置いた。

※各指数は年間補正により平成28年1月分以降の値が遡及改訂された。

このため、前月との比較は改訂後の数値で比較しており、前月発表された数値との比較ではないことに注意。

・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)